

朝霞市議会
請願第 3 号
令和 3 年 6 月 2 日

請願書

再生可能エネルギーの割合を高める

エネルギー基本計画の改定を求める請願

紹介議員

岡崎 和広

**件名：再生可能エネルギーの割合を高めるエネルギー基本計画の
改定を求める請願**

気候変動により地球と人類の持続可能性が危機に瀕しています。

気温を 2100 年までに産業革命から 1.5℃の上昇以内に収めないと人類は生存できなくなると言われますが、気候危機の原因は私たち人間が生み出している温室効果ガスによるものです。2030 年第 6 次エネルギー基本計画の改定はコロナと気候危機が進んでいる今、大変大切な計画になります。

また近年、エネルギーの利用に伴う環境問題が一層顕在化してきており、とりわけ、地球温暖化問題は世界的に取り組むべき問題になります。エネルギー起源の二酸化炭素が温室効果ガスの大部分を占めていることから、それをどう抑制していくかが重要な課題となっております。我が国も京都議定書に参加し、その抑制に取り組んでいくこととしております。

加えて、近年、経済活動の国際化が急速に進展してきており、我が国のエネルギーコストが他の先進諸国に比べて高い場合、国民生活のみならず、我が国産業の競争力にも影響を及ぼすことから、規制改革等を通じ公正な競争を促進し、効率的なエネルギー供給システムを確保することへの要請が強まっております。

約 70%の食料とほぼ 100%のエネルギー資源を海外に依存している日本が自給できるエネルギーは、再生可能エネルギーしかありません。再生可能エネルギーの導入拡大は温室効果ガスを減らす最も有効な手段です。

2050 年カーボンニュートラルの実現の鍵は、エネルギーの効率化と共に再生可能エネルギーの大幅な拡大をいち早く進めることです。

エネルギー政策の基本は、市民に一番近い自治体です。そこで、市は国に対して以下の意見書を提出してください。

1. 国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギーを強力に推進する政策への転換を早急にすすめてください。
2. 国は、次期エネルギー基本計画で、2030 年度の再生可能エネルギー電力目標を 60%以上、2050 年度は 100%としてください。

上記の通り、請願します。

令和 3 年 6 月

朝霞市 1-36-22-503
生活クラブ生協朝霞支部
請願者代表 松山 美里



請願書訂正願

1 件名	再生可能エネルギーの割合を高める エネルギー基本計画の改定を求める請願
2 提出年月日	令和3年6月2日提出
3 請願者 住所 氏名	朝霞市本町 1-36-22-503 松山 美里
4 紹介議員	岡崎 正広
5 訂正箇所	要旨の内、「加えて、近年、経済活動の国際化が急速に進展してきており、我が国のエネルギーコストが他の先進諸国に比べて高い場合、国民生活のみならず、我が国産業の競争力にも影響を及ぼすことから、規制改革等を通じ公正な競争を促進し、効率的なエネルギー供給システムを確保することへの要請が強まっております。」の142字削除
<p>令和3年6月23日</p> <p>朝霞市議会議長</p> <p>石原 茂 宛</p>	
<p>請願者代表</p> <p>松山 美里</p>	